

マンション基礎の液状化対策に採用された — CPG工法 —



マンションの新築工事に伴い、厚く堆積している緩い砂層の液状化対策が必要となりました。

施工箇所が狭隘で既設の建物が近接していることから、機械がコンパクトで低騒音・低振動でモルタルを圧入できるコンパクショングラウチング工法（CPG工法）が採用されました。

既設構造物に悪影響を与えることなく、所定の液状化抵抗率を達成することができ、施工性と品質について高い評価を得ることができました。

施工数量	
施工本数	143 本
注入量	3,844 L/本
総削孔長	1,800.50 m
総注入長	1,238.10 m
総注入量	549,740 m ³

〒111-0052
東京都台東区柳橋2-19-6

T E L : 03-5825-3704 (営業本部)

F A X : 03-5825-3756 (営業本部)

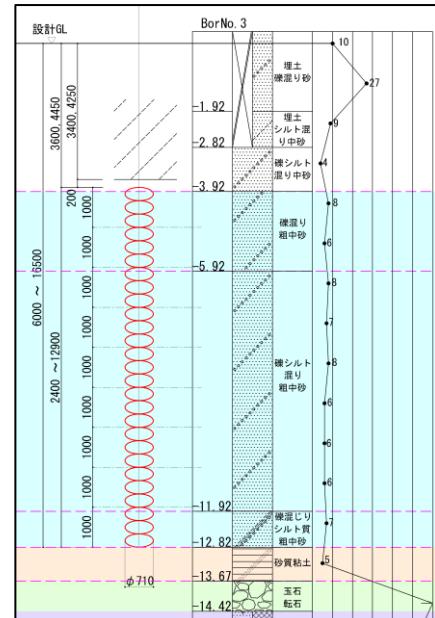
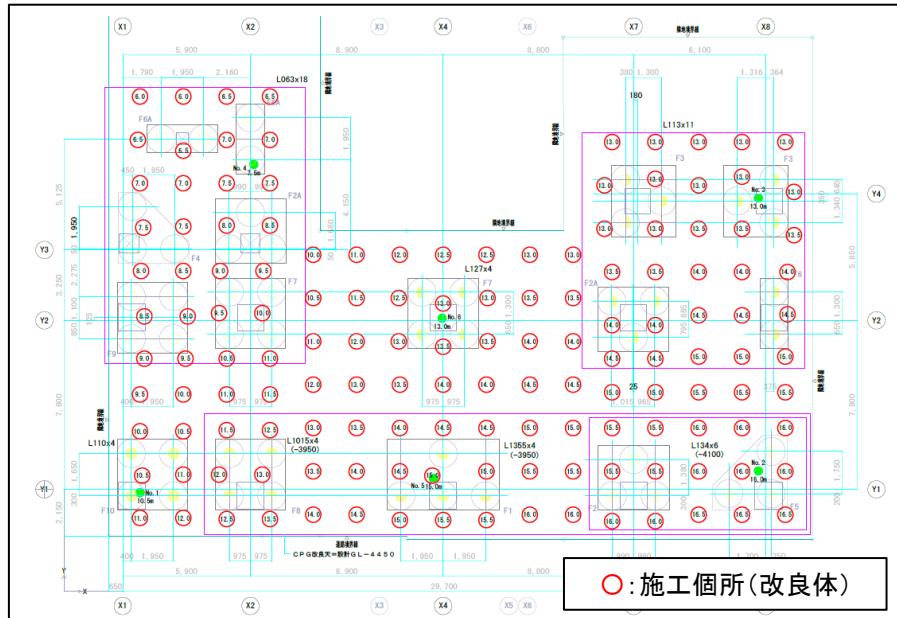
U R L : <https://www.sanshin-corp.co.jp/>

E-mail : sales@sanshin-corp.co.jp (営業本部)

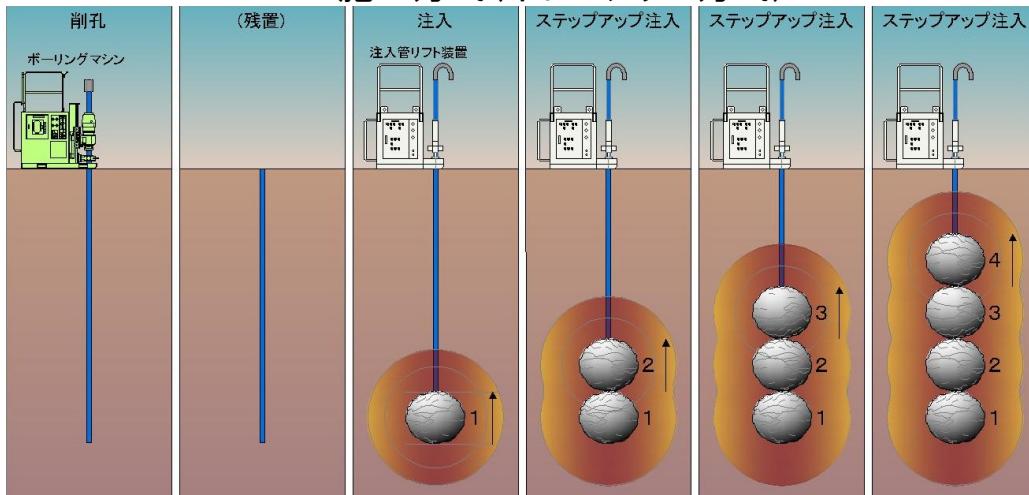


平面図

断面図



CPG施工方式(ボトムアップ方式)



削孔状況

注入状況



〒111-0052

東京都台東区柳橋2-19-6

T E L : 03-5825-3704 (営業本部)

F A X : 03-5825-3756 (営業本部)

U R L : <https://www.sanshin-corp.co.jp/>E-mail : sales@sanshin-corp.co.jp (営業本部)

三信建設工業株式会社

